

## 第36回グリの里 新春書きぞめ大会が 開催されました

1月6日、石橋体育センターにおいて、「第36回グリの里新春書きぞめ大会」が行われました。

幼年から一般の参加者まで、市内49名を含む84名が、「新たな一年間の思いを筆に託し、元気で力強い書きぞめをしよう」をスローガンに、あらかじめ決められた課題を書きました。



今回、初めて参加したという小学1年生の児童は「上手にかけた。」と満足そうな様子で、この児童の保護者の方は「まだ書道を初めて2か月なので、上手に書けるか心配していたが、集中して良く書けたと思います。」と、我が子の成長を喜んでいました。

## 市役所職員全員を 「認知症サポーター」に

12月27日、「下野市職員認知症サポーター養成講座 全員受講大作戦！」が行われました。

この取り組みは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、地域全体で支えるために、市役所全職員が「認知症サポーター」になることを目指すものです。



3月末までに全職員の受講を目指し、まず市長をはじめ市役所幹部職員44人が受講しました。受講者には認知症サポーターであることを示す、オレンジリングが配られました。市では認知症サポーターの拡大に取り組んでいきます。

**問い合わせ先**  
高齡福祉課  
☎(52) 11115

## 平成25年度 宝くじ助成事業

宝くじ助成事業を活用して、2団体がコミュニティ備品を整備しました。国分寺中央コミュニティ推進協議会はお祭り備品・エアコン・会議用テーブル等を、東方台地コミュニティ推進協議会は広報掲示板・会議用テーブル等を整備しました。



これにより、両協議会の地域におけるコミュニティ活動のさらなる向上が期待されます。この助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじ普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に行われています。

